

第5回門真市立リサイクルプラザ運営検討委員会

議事録

日時：平成22年6月25日（水）午前10時から午前12時

場所：門真市立リサイクルプラザ5階 第一会議室

出席委員：

学識経験者	福岡大学大学院客員教授 工学研究科 工学博士 浦邊真郎 摂南大学学長付客員教授、大阪工業大学客員教授 農学博士 宮田秀明 大阪工業大学准教授 環境工学科 博 士 福岡雅子
市職員	稲毛総合政策部長、市原市民生活部長、政環境事業部長
市民の代表	畑智恵子、小寺美保子

事務局：田中環境事業部次長、柴田環境センター総括参事、船越環境総務課長
橋川環境総務課長補佐、笠置環境総務課長補佐、
環境総務課総務・減量グループ 水野

次 第

1. 第4回委員会議事録の確認について
1. 門真市リサイクルプラザの今後の在り方について
（各工房の評価について）
1. その他

司会	大変お待たせいたしました。 定刻となりましたので、只今から第5回門真市立リサイクルプラザ運営検討委員会を開催させていただきます。 本日は、委員の皆さまにおかれましては、公私何かとご多忙の中、ご出席いただきましてありがとうございます。 私、本日の司会を務めさせていただきます。環境総務課の橋川でございます。よろしくお願いいたします。 本日の委員出席は、6名でありますので、設置要綱第6条第2項の規定に達しております事をご報告いたします。本日、小寺委員と辻江委員におかれましては、諸用のため欠席されております。また、市原委員も公務重複のため欠席でございます。皆様によろしくとの事です。 なお、議事録作成のため、録音させていただいておりますので、ご了承願います。それでは、開会に先に立ちまして、委員長よりご挨拶を申し上げます。
委員長	この委員会も第5回と言う事で、今日でまとめになろうかと思えます。最後と言う事もありまして、色々と検討していただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。
司会	ありがとうございました。ここで、手元に配布させていただいております資料のご確認をお願いしたいと存じます。資料はまず「会議次第」「第4回門真市立リサイクルプラザ運営検討委員会議事録」「門真市立リサイクルプラザ運営の在り方」中間報告「検討委員会への報告」「マトリクス資料」でございます。揃っておりますでしょうか。それでは、委員長よりよろしくお願いいたします。
委員長	まず、第4回議事録の確認と言う事ですが、事務局より説明願います。
事務局	第4回の議事録につきましては、別添にお示しの通りでございます。時間の都合上朗読等控えさせていただきますが、公開の対象でもございますので、ご意見等ございましたらよろしくお願いいたします。なお、メールでも送信させていただきますので、後日でも結構ですので、ご連絡をお願いいたします。
委員長	いつものとおり、メールにて修正した上で送ってください。それでは、次第の2番目「門真市立リサイクルプラザの今後の在り方について」、前回に引き続き工房の現状に移りますので、よろしくお願いいたします。
事務局	まず、第1回から第3回までの中間報告及び事務局からの資料等の報告につきまして、まとめさせていただいています。次に、前回にご検討いただきました各工房の評価についてのご意見等をまとめさせていただきました。マトリクス資料につきましては、前回資料に第4回のご意見をゴシックで追記いたしました。A3一枚でまとめさせていただきたいと思えますので、備考欄では書ききれない部分に関しては、内容の方で追記しました。例えば、自転車のある所にも、設備の関係で「設備にはここではない」と明記しました。家具工房もそうでしたので、下の方で追記しました。紙すきに関しては他の施設でも行っている内容を追記し、他には陶芸、リフォーム、エコクッキングも他の施設でできると追記して、それ以外にも、紙すきの場合は新聞でもできるなどの内容、一枚で収めたいと思えますので、各工房に対しての検討の進行がしやすいように議事録から抜粋いたしました。以上簡単でございますが説明とさせていただきます。

委員長	事務局からの説明がありました。全体的にまた中間報告を見て、第4回と今日の内容をある程度抜粋して、最終報告としてよろしいか。何かご意見等ございませんか。
委員	今、全部目を通す時間がないので、少しお時間をいただきたい。 後日でも、ゆっくりと読ませていただいて、議事録のメール返信内容も含めて、その時に意見が有ればメールあるいは直接とかささせていただきます。今はこの時点では、聞かれても分からないので。
委員長	何かのまとめるのが必要なのか、いや、それと経過だけの意見版だけでいいのか？私も最初から全部を読んでいないうえ、皆さまのご意見をいただいて集約するのは非常に難しいので、4回と5回のまとめもしていただいて、最終報告としてもらえればと思います。
委員	最終的にここは何をする所なのか？それが4回目の最後の括りでありました。
委員	リサイクルプラザの何をするところか、そもそもは運営の在り方について、どのような運営をするか？効果的な運営をするかですね。
委員	三つ位に分かれると思います。結論的に言えるものと、もう少し検討をしなければいけないもの、それから提案と言う様な事が必要なもの、このようなことが最後のまとめになるのかなと思います。委員が共通に言えている事はそれを一つにして、それから少し分かれている意見の場合は、課題として検討する。新たに提案されているのがあり、実際は現状に対しての提案としたほうが良い音もいます。従って、大きくは三つ位が最後にまとめになる。
委員	このまとめをざっと読ましてもらって、検討委員会があくまでもリサイクルプラザの適正かつ効果的な運営のための方策を探ると言う事でスタートし、各委員の色々なご意見が出て、活発に論議された経緯を踏まえ、今後の方向性について終盤を迎えたと理解しました。 最終的には最終報告で、その三段階の経過を踏まえて、こう言う結論に達しました。という形で終わったらいいかと思います。 ただ、総論については、その結論的なもの、それぞれ自体を加えたら中々難しいもの。色々な意見を毎回出して頂き、その意見を本来の目的であるものに対してどうなのか、そういう目的に沿って意見を付けていただきたい。 最終的にはそういう形のものが出来ればいいじゃないかなあと思います。
委員	まとまるもの、意見が分かれるものを含めて整理をして、今後の方向性がどうか、提言していただいて、それも又、意見が分かれるかも知れませんが、これやも含めて最終的にはまとめて、こう言う形で進めたらどうかの方向性があれば、一定の判断材料として、有効なる様な形でまとめる場が必要ではないかなあと思いますので、今日は帰ってからゆっくり読みながら、再度整理をします。まあ、事務局の方ももう少しこれらの辺の共通項と意見等をまとめながら、大至急の形になるかと思っています。
委員長	今は大体、三つの方向性から集約するので良いのではないのでしょうか。
委員	三つの方向性を改めて確認をさせていただきたいのですが。現在皆さまが一致している事、それは何に対しているのでしょうか？運営？

委員	運営の形として、色々な考えがある運営での一つ。今後どういう運営になるのか。あとはそれぞれの工房の関係を含めてどういう風なカタチで、今後変えていくなれば、その在り方について一つのまとまるもの。あとは現状じゃなくて、将来的な事も含めての感じかなあとと思いますが。
委員	今、一致しているものとそれから一致していない、それぞれの考え方にあると言うのはわかりますが、今後の提案で一致しているものはできると思いますが、一致していない部分は提案で言うのはできますかね？
委員	そうじゃなくて、その一致しない部分、それはプラザの見学でもう少し環境教育的な事であり、実態を現状と違って、より効果的な新たな意見がでています。今後の運営にあつたて、より改善に向けての提案みたいな事だと思っております。
委員	それは一致している事の中に入るのですかね。
委員	だから、今後それについて検討を更に次の委員会に、あくまでも提案ですから、それを具体化するかどうかと言う事については、やっぱり今後の事になってくると思いますが。
委員	今後の課題見たいなあ。
委員	単純に考えまして取りあえずプラザの運営ですよ。 現行のプラザの11工房について色々な角度から検討と意見を出していただいて、それについて現行の11の各工房を継続していくのか？について 市として継続していく方が、門真市のリサイクルプラザの設置目的であるごみの減量に繋がると言うのは一致している工房の姿でありますよね。 ただし、この工房については、疑問点がありますよ。 色々な角度から、これは推進すべき工房なのか、 ここはちょっと改善してもらわないと駄目ですよ、 といった色々な観点を踏まえ継続するのか？しないのか？ それぞれ11工房の中で、継続するもの、継続を中止し新たに追加するのが必要じゃないかと言う様な形で絞ると、考えやすいですけどね。 そう言った意味で、最終11工房で考えた場合は、色々な質問の仕方や答えの出し方が出てくる様な気がします。私は、それらをまとめれば良いと思います。
委員	11工房を仕分けるなり、新たに付け加えるなりで言うのと、おっしゃった様な運営全般だとちょっと別の話で、例えば直営でやるのか？委託でするのか？指定管理者でするのか？それか料金を取るのか？取らないのか？そういう話は一方でありますよね。それとも仮に料金を取るのなら、もうやらないような工房がでてきますね。工房を仕分けするにしたて、工房からのアクションと言うか、運営に対しての意見と言うのを聞かないといけないと思います。
委員	それは当然この検討委員会で調整したい方向性で決まった場合は、行政として尊重はしますが絶対実行できるとは言いきれません。 あくまでこの経由の中で、こう言う形がベストですよ。こういう方向性がベストですよ、と言う話が大事で、如何にそれを実現できるように考えなければならないと思います。 運営と言う言葉は難しい言葉で、単純に考えますと、現行の各11工房をどう考え

	ましようかと言う事をこの検討会で各11工房について位置づけすれば当然、新たに各工房についてそれぞれの形や方向性が見えてくる、それこそ運営ですよ。そうなると、直営ですか？委託ですか？指定管理ですか？という話しが付随して必ず出てくるが、それは、ここの委員会の中で、全てを考え結論するのは、ちょっと不可能で難しい気がします。 取りあえず、現行の11工房についてこう言う経過・経緯があると、果たして、門真市リサイクルプラザで工房として継続していいのか？と言う問題で色んな議論を展開し、先ず一つ一つ検証していき、その中で継続する工房、継続が難しい工房、また改善が必要な工房と検討を重ね、それぞれの形や方向性に応じて、現時点では総合的に直営がベストです、委託がベストです、指定管理がベストですとまとめ、いわゆる課題である3R啓発拡大が一定納得できた時は、次のステップとして、新たにリサイクルプラザのあり方として、直営ですか？委託ですか？指定管理ですか？を検討しても良いのではないのでしょうか。
委員長	大体、今までの経過で見えていきますと、この共通の問題はリサイクルプラザの設置目的で言うか、この検討委員会設置目的で考えますと、先ず、リサイクルプラザの運営の在り方を色んな意見で共通した問題。先ほど、この委員会は指定管理者制度検討する会ではないと言っているのですが、直営でやった方がいいのではないのかと、この辺は多分在り方で、意見一致すればまとめていきたいと思います。全体の在り方と個別の工房とでは必ずしも意見が一致しない、個別11工房は仕分けされるかもしれない。直営である限りは残すかもしれないが、逆に委託であれば、色んな各工房の費用負担になれば、あまり儲からないような事も出てくるでしょうし、先程言われた様に、もう少し広く、ごみを分別して減量化、地球環境、環境教育などといった事も議論に入っているの、出来ればこのリサイクルプラザで全部達成できない様なものについては、先程に有った今後の展望的な問題と課題。リサイクルプラザと他の施設との関連、出来ればその三つ目に書いていただいて、結論とは言わないですけども、一つの提言と言う様な格好で良いとは思っているのですが。そう言う点では3点で言うかまとめの方向でしたいと思います。
委員	その三つとは何なのですか？
委員	運営と工房と今後の課題。
委員長	全体の在り方と言うのは、工房毎でなく全体の在り方ですので、それが先言われた様に、直営でいいのか？その民間でした方がいいのか？指定管理制度にも有料制を取るべきか。その全体の運営の在り方の一つ、先ずまとめないといけない、まとまらない場合もあります。その次には個別の11工房がそう言った意味で適しているかどうか？仕分けまではいけないかもしれないので、リサイクルプラザの在り方だけでは全部を対応は出来ないと思います。他の政策がございますと、リサイクルプラザだけではなくで、エコショップの制度とかごみの減量啓発の仕方、環境教育の在り方については少し提言なりをまとめられればと思っています。 前も言いましたが、市長のアイデアは物凄く広がっているのですね。健康福祉等、市のまちづくりもごみ減量、環境教育を一貫性にしたい。小学校の教育も全てこう言うのをやっていきたいとか。地域通貨をやりたい等の考えが非常にあるので、それに付いては、このリサイクルプラザだけじゃないと、施策展開の見解については、ご意見が有れば、この第5回目で提言していただきたい、ただ、意見が分かれる所があれば分かれてもいいと。

委員	それは今後の在り方についても？
委員長	先ず、リサイクルプラザの運営の在り方と言うのはこれで、今まで通り・・・
委員	運営の在り方じゃなくて、1つ目2つ目で行った事を言うのですね。
委員長	そうそう。
委員	門真市の今後を考えて頂くような検討会から出る意見。工房の運営だけであって、今まで考えている中に幾つか、それから外れるようなことを出してもいいと思うわけですね。それを又委員会での提言により、リサイクルに関係することで、そこから少し離れて突出するような意見が出てきましたので、新たな提案というのも、門真市としても非常に有効かも知れないですね。それ自身はこの委員会で結論付けているわけなのですが、このような検討会として提言もできる。それを今後門真市として取り入れるかどうかというのは特別に意味がある。運営から外れますけども、リサイクルとの関係について今現状にあるものを門真市として集約すればよいと思います。
委員	例えば、私は賛成しないですけども、地域通貨の話が前回出ていたと思いますが、地域通貨が有効であるみたいな事を、個人的にはちょっとね。それが3番目。リサイクルプラザとかではないですが、それを他のところもこういうのをやって行けるというのか話が聞けばいいと言うことでしょうね。
委員長	それが今2番目の資料11工房についてのマトリクス資料。一枚目にまとめている各プラザに要望されているごみ減量、3R啓発、市民参加、環境学習、低炭素、再廃棄、家庭実行等の評価で、全て満足するようなことは難しいですよ。ごみ減量は、リサイクルプラザで基本的に担うよりも、3Rの啓発はあるかもしれないが、ここでしか出来ない内容の役割はやっぱり注視しなければいけないが、ここでしか出来ない工房でも他の役割はどうなのか、例えば家庭実行を評価の項目に入れられると、評価は難しいなということになりますね。リサイクルプラザとしては、どういう運営が出来ているのかが一つの検討内容として評価することになります。
委員	これを点数として付ける訳ではないので。
委員	以前に評価表があったじゃないですか、点数で評価するのか分からないですが、私なりに評価してみたのですがね。これを今日するのかなあ？何段階評価にするのが分からないですが、自分で5段階と考えて評価してみたのですが。こんなやり方では一市民では難しいです。行政でも大変だと思います。内容を見ても最終的に一市民として聞きたいですが、今、行政はここをどうしたいのだろう？疑問があります。市民がかなり利用されている時期もありました。今来館者の人数的にはかなり減っています。市民が来ない方がいいののだろうか？沢山来た方がいいののだろうか？来たら、来たでいろんなメンテナンスにお金が掛るかもしれない。じゃ、来ないなら、来ないようにした方が財政的に楽だろし、今は中途半端なところにあるのですが、実際に行政側はどうしたいのだろうか。ここの建物は啓発を目的としていると思えば、そう啓発らしき物が展示にしろ、一度も14年度から変わっていません。むしろもっともっと落ちています。啓発の部分に対しては凄く悪くなっています。11工

	房をしています但最终的にはすべて再廃棄になるのです。どんな物でもリフォームしてもいなくなったら最後にはごみになるのです。だけど捨てる前にもう一度再利用してということで、啓発についてはかなりできているとは思っているのです。だから趣味の世界でもすぐごみにするのではなく、いろんな風に使えますよ、そういう実践ができる場所かと思います。だから、これをどうしたいのだろうか、11工房を本当に市民達があの頃はこれをやろうと意気揚々として行っていました。それぞれのスタッフさんが多くいて、こんな風に立ち上がって11工房を何とか今までできていたのですが、残念ながら自転車と家具に関しては、やる意志はあるのですが、スタッフの年齢がかなり高くなり、これはもう危険だと言う事で、この4月からは閉めました。これはリサイクルに関しては、凄く有効だし、市民も求めています。やり方によれば利益も上がる工房です。 やりたいのは山々なんです、スタッフ確保の面では上手くできなかった。何故確保できなかったかは、お金の面でボランティアではできないという様なことで確保できなかった状況です。スタッフ確保ができなかった為、工房を閉めざるをえなかった。せっかく良い事をしていても行き詰まってしまう。これを行政側がやってくればもっといいのにね、不法投棄の自転車も使えたりするのに、今思っているのは行政がどうしたいのだろうか？市民が来た方がいいのか？来ない方がいいのか？
委員	基本的にプラザは目的から見れば、門真市内のごみの問題ですね。 ごみの減量、3Rの啓発の形で皆さんが知っていただきたいという目的のため、行政が各種の施策を展開する中で、具体的に市民の中に入っていくのは難しい問題があります。そういう面では官民・公民協働ですね。 そう言う方々はこりサイクルプラザをごみ減量の発信基地として使って頂ければ良いと思います。 全ての方に意識を持ってもらう為には、啓発活動からボランティア団体サークルとか、組織の交流をして広く門真市民に浸透さしてもらう。 その目的に達成が出来れば、市が目指しているごみの減量に繋がる。 そう言う観点から6年間運営していただいたことは大変感謝しております。 しかしながら、議事録を見させていただいたら、見方はどうしても、課題である3Rの啓発拡大になってしまう。それを解決する為に検討委員会で議論を展開していると考えています。3Rの啓発拡大の最良は。
委員	PRです。
委員	それをね、どういう見解でPRされているのか、ボランティア団体さんが。
委員	今まで、色々な所でPR活動をやっています。現在もしていますが、かなり縛りもありまして、一番市民にとって広く知らせる広報がしなくなった。毎月開催しているのに、「もう止めたん？」と言う声が多いです。市民に開催していますよ。毎月細々ながら配っていますが、広報は市民全戸に配られますので、市民はそれを見て利用しています。何年か前から聞いていたのですが、自分の好きな所しか見ていない、広報から外されたのが痛いです。自治会の回覧の中でもやっていますが、でも限られています。子供会も門真市を通して色々出来ます。学校もそうです。色々できるのですが、後押していただきたいのです。一番良い方法は広報です。
委員	その辺の経緯は、申し訳ありませんが認識しておりません。 そう話してしたら、当然ながら行政側も反省しなければならないと思います。 その時点でもっと協議して目的は同じですので、何らかの障害があっても乗越える

	べきだと考えます。 ・委員がおっしゃった様に、今までやって来たことが、理由なく、ここでストップしますでは絶対にダメで常に工房利用団体と行政側とは連携を取らないといけないですね。
委員	話をさせていただいて、駄目なものは決まったから駄目だ。これは決まってしまったから駄目とシャットアウトです。
委員	行政としても、反省するところがあります。
委員	別にリサイクルプラザに限らず、何でも組織でも物でもそうですが、作っている時は一番楽しいではないかなあ。色々考えて新しい事をやっていこうと、それに最初から参加した人達は、それなりアイデアも言い合っていけますが、ただ、ある程度物が出来上がった物があったら、その後から参加するとほぼ面白味がなく、同じ趣味になる。後からの参加者がいないじゃないかと思う、だから何かするとしたら、新たなグループでいたら、今までの既存グループと関係なく一からやってもらうようなグループがないと、そのグループのメンバーが高齢化していて、何でもそうですよ。音楽でも、演劇でもよほど有名じゃないと作っているメンバーでずっとやっていくと。又、下の世代は自分達で違う物を作ってやっていくのですね。だから、多分、今いき詰まっているのは、組織が何処でもこう市民組織とかが、何処でも行き当たる問題ではないかなあと思います。 そこのところから、新たな集団を一から作って行ける様な物を提供する事がないと、活性化しないじゃないかなあと思います。
委員	1 1 工房が有っても他にも施設がある、それがここでする事が本当に良いかどうか？と言う様な検証をしている訳ですね。それは継続している時に、別にここでやりながら、ごみの減量化と繋がる様な事がなければ、その継続を検討して欲しいと言う事になります。継続しているところについては提言します。 やっぱり今後の視野から見れば、有意的な工房を継続に要する資格の人をつくる制度を作るとかが必要で、現状では出来ませんが、提案ではそうしないと続けていけない。有効だけれども、やっていけない。一方、やっているけれども、有効でないと言うものもあります。それをここで検討するのですが、そこで幾つかの活動の中で非常に有効なものでありますが、人材を募集して継続させるような制度を作っていないと駄目ですよ。 結局リサイクルプラザの工房の在り方で、そこを検討して欲しい。何も門真市に他に一杯施設が有って、何もここでする必要がないじゃないかと言う様なことがあって、どうしても続けるだったら、他の施設と違う意味合いを持って、しかもお金が掛るとしたら、本当に必要かどうかと言う事でこの辺も含めて新たな提案をし、ここに書いている中でそれを判断して、やった方がいいのかどうか、それを考えていくのがこの検討会の設置の意味があると思います。 1 1 工房については、それぞれここにまとめていますが、いらない物はいらないということについて、そこに委員の意見の分かれる部分でもある訳です。見方が違うとどちらが有効で、どちらが有効でないとの意見の食い違いがあって、そういう様な色々な見方ができますね。 それをどうするのかの問題がありますよね。3 Rに非常に有効かどうか？それをなくなって来ているのは市としても考えないといけないのでそこを検討して欲しい。
委員長	したがって、先程も言った三つリサイクルプラザの在り方、運営の在り方で3 Rの

	啓発と、市民に目的としてのごみ減量を目指すと言って、実際にリサイクルプラザの役割を果たしていないと、この建物自体がやっぱり要らないのか？要るのか？先ず、まとめのところで、これは他の役割があるので他ですればいいじゃないか、ここは全く要らないという話だったら別ですが３Ｒ啓発、ごみ減量を目指す為の一つのハードであり逆にソフトでもあるとのこの施設の位置付けをしていくかは、どのような形をするのか、継続としていかないといけないのかです。
委員	先ず、ここの施設は折角あるものですから、市としてあるものなので、絶対にいかにさないといけないと思います。
委員長	それが一つですね。
委員	それは共通です。あるものを使っていけないと。その中で何の為に建てたのか、それは３Ｒの啓発の為に建てた事なので、中心的には３Ｒ啓発の為に事をやらないといけない。
委員長	先ず、それからリサイクルプラザの在り方としては継続して、今後も更に活発にしていきたい。その為の運営とか、資金の問題とか、担い手作りが先にありましたがその辺はどうなのか？
委員	それは、実際位置的には大前提ではあると思いますが、一方その生かすと言う、折角活かすのであれば、もっと収益の為に突っ走るという在り方だってある訳ですね。その辺が皆様はどう一致しているのかと言う感じですか？
委員	啓発と言え、収益は見込めないですね。
委員	先ず、そこは一致する必要があります。３Ｒの啓発にはお金が掛かるものだ、私自身は現に実感しています。
委員	私は１１工房が必要だとは思わないです。
委員長	ちょっとそれは次のステップで、先ず、ここのリサイクルプラザはどう有るべきか？と言われているので、これは主に啓発が必要であるので、収益ではないというところはもう一致しましたね。
委員	先ず、この施設を活かさないといけないと言うのは一致しています。その次にその活かし方としては、お金を一杯儲けるために誰かに貸出すとか、お金は掛らないが、３Ｒ。逆にお金一杯掛るが、３Ｒ。お金を稼げないが、３Ｒを問題としてしっかりとしていけないといけない。それは両極端を言っていますが。
委員	市の財政は好転しつつありますが、やっぱり厳しい状況なので。確かに３Ｒの為に税金をぞっと投入したら、もっと市民が沢山集まってきて、一見もっと盛り上がるかもしれません。残念ながらそこには投入できる状況ではない、だけど投入方法をもう少し上手し、活用したいと言う思いが非常にあるので、本当に実力行動しか考えてない訳ではないので、予算編成の中で３Ｒが当然目的ですから、行政が儲かる、儲からないだけの判断するのではなく、当然それは考えますが、あとはバランスとして公民協働と言っていますので、それがなかったら本当の目的が達せられないと思うので、市民も一定の運営費を稼ぐ様な方法、それは考えて貰ったらいいいと思います。

	ますが、そういう様なことができる施設にするなら続けていけばいいと思いますが、何もかも税金でこれをやってくださいと言う事では、ちょっと続かないかなあと言う様な思いはあります。 市も勿論考えて捻り出す所は捻り出して、予算を付ける様には考えていきますが、公民協働で市民ができる事は、その分市民が自分達でできるから税金投入いいですよ。言う様な事を色々努力しながら考えていける様な物として、それが広く市民に行き渡る様な広がりを持つ様な、運営が出来れば非常にいいのかなあと思いますが、それを目指したいなあと考えています。
委員	方法はありますよ。啓発する時にお金の掛らない、市民はもうお金の事は分かっていますので要求はないと思います。ただ、折角場所が有りますので場所の提供ができると思います。場所提供を使いやすい様にしてあげれば色々な方法で啓発ができると思います。その為の協力を。
委員	基本的にこの11工房と言うのは、他市町村のリサイクルプラザ方でも取り入れている工房ですね。これらの工房は基本的には、3Rの啓発が期待できるものですね。しかしながら、副委員長が仰ってますように、市の財政状況を見極めながら行政を執行するにおいては、市民に転嫁する訳じゃないですけど、公民協働仕組みの中で、広く啓発していこうと、その前に市民の方はこの11工房に対しての認識が持てているのか？ 相手側、市民の想いから考えた場合に、そういう点から精査して考えていく、グループが出来あがって、作る側の人間の意識は進むけれども、ある一定のところに来るとストップする。 このグループの組織の問題も考えないといけない、その辺をどう改善していくと良いかと言う風な観点でね。 ここでギブアップですよとなれば、3Rの啓発からしたら、ちょっと残念な結果になってしまう。 そういう風な観点から11工房を見ていくことも一つ有ってもいいじゃないかなあと思いますが。
委員長	そうしますと、基本的には継続していくと言うことで検討していく。次に費用負担の問題から、運営体制の問題ですが、ここではほぼ公民協働によって全額を市が税金負担するのではなく、お互い協働しながら場所の提供を含めてやってください。これもよろしいですね、検討委員会としては、市としては場所の提供と一部の費用負担があるかもしれません。
委員	それはいいですけど、その目的が3Rだけなのか？その他何でもいいのか？例えば子育て支援でもいいのかね。
委員	リサイクルプラザの意味合いとしては、3Rに繋がらないもの、それは他の施設でもできると思います。
委員	基本3Rの延長上にね、子育ての関係も入ってくる、そういう組織がごみの減量目指して活動を展開する。それ私はいいと思います。 しかし、子育て支援を看板に掲げ事業展開の一部として、ごみの減量をやりますと言うのはリサイクルプラザでの工房展開としたら、ちょっとどうかなあと思いますね。

委員	門真市の公共施設は古くなってきていますので、施設の建替えも含めまして、色々検討する時期に来ています。学校の跡地活用も当然考えていかなければいけない中で、市民の意見も聞きながら進めていけないと思っていますが、そういう事で他の所で十分出来るような整備がされているのであれば、ここは補助金で3Rを全面出したそれに寄与していただくというのが本来の筋かなあ、そこで有効活用が出来れば、他の部署でできる所は削ってもいいのかなあと言う思いもありますし、今なくても将来的には、持っていくと言う計画です。同じ様には出来ませんが、そんな事は当然か考えていかないと駄目だと思っていますので、そこらを見ながら対応していきたいとは思っています。
委員	基本的にここでなくてもね、他で活動して頂いたら良いと思います。 市としては当然ながら、そういう所でされる活動については、密接に連携を取らないと行けない。 只、今言っているプラザの中で工房を展開していくには、やはりごみの減量、3Rの啓発の形で市民の皆さんが知っていただきたいという目的が達成出来なければならない。
委員	そういう意味合いで、11工房を使って、全然関係ないならしくていいじゃないかという事。今後も新たに11工房じゃなくていい、そのうちの幾つかは有効な事で、又、新たにするにしても、それは効果があって有効利用と言う意味合いで、公益性があるから、維持をしなければいけない、と言うことになりますね。
委員	そうですね。それだけ色々な評価で門真市も事業仕分けをしますが、そこで診断しながら、相応しいかどうか？事業状態の成果と効果みたいなものを判断しながら、あればいいだけとか、他の所を変った方がいいかと言う事も、運営方法も上に向けて、活性化もしながらみたいな事で、市民が頑張っていこう、もっと頑張ろうと言う仕組みが出来たらいいなと思っています。
委員長	今は個別工房の話が少し絡んで来ているのですが、先ず、最初のリサイクルプラザの在り方、運営の在り方を含めていくと、3R啓発を注視した活動を今後も活かすための活動は活かしていかなければいけない。その次の費用負担と費用と言っても公民協働で、市の方は場の提供をしながら、市民は全部税金負担ではないと、これもよろしいですね。次に、運営体制ですが、市が全面負担しないから、直営ではない話でいいのか？
委員	もしそれだったら、誰かが絶えずボランティアとして、その事務を取り扱うと言う事になるのですか？
委員長	それとも、一部費用負担で、どのような形になりますかね？
委員	現在は貸し工房になっていますので、市民が負担しながら利用していると言う状態ですね。だから直営ではないなら何になるのですか？
委員	今の時点では管理を含めて直営、市で運営は直営です。
委員	そうですね、誰に貸すとか、そういう管理を市の職員の方が行っていると言う事で、その部分を誰がタダ働きでするのですかね？

委員	公の施設です。市が直営になるか？指定管理でやるか？委託もありますね。どちらかの選択しかありませんので、それはどちらがより事務効率の良い運営ですよ。経費は勿論安く上がるのか？指定管理になっても、上手く目的を果たせるような団体があってちゃんと管理運営できるか？その辺の絡みでメリット・デメリットはあると思いますが、市として判断する所でもあります。
委員長	そうしますと、このリサイクルの全体の管理として、市、公的な施設ですから、直営で行おうと、その運営について、先程のチェックをね、これは正しいのか？この機能をなぜか、今は若干この委員会で中身を知らないままはチェックをできない。仕分けはあまりしたくないですが、これから運営していく直営、指定管理を活かした運営管理について、チェック機関を設置するよう要望をするかどうかですね。
委員	本来直営でやられるのであれば、市が対応を担わないといけない。指定管理するなら、その指定管理者を選定されている時にそれを終わっていないといけないと言う事になるのでその後のチェックはもう絶対おかしい。 それと指定管理は、私はいいとは思わないですが、やるだったらゴロゴロやる人が変わらない、市の直営でやるにしても移動で変ったりすると思いますが、ある程度方針を持ってそれを何年間かやらないと、初め準備をして実際にやってそんな1年では終わらないと思います。何か将来像をもって、それを自分が目指してやりたいと思った事が有ったとしても2年とか3年で変ってしまったら、それは実現までは絶対に出来ないと言う事になるので、やる人はなるべく最低3～5年位は見ている様な体制が望ましいと思います。
委員	市の直営だったら、コロコロ変るじゃないですか。だったら指定管理ならある程度5年なら5年で方針はズレないのは指定管理の方です。でも、指定管理も利益がなければ、絶対に請けないですよ。ここは望めるのかなあと思います。
委員	3R啓発とかリサイクルの啓発は行政も関わっているので、これは儲かる筈がない。そしたら、やっぱり指定管理業者にするとそれ自体が営利の目的に達していないから当然あきません。市の事業の中でそう言うのを考えていかなければなりません。最終的に3Rを目的にしている訳ですが、大体儲かる筈かないと思いますので、指定管理にして任せてしまうと言うのは、かなり無責任の話じゃないかと私は思います。維持運営をきっちりと目的に合った形で、市がやって市がもう一つ関わっていないと、こう言うのは難しいと思います。
委員	そう言うご意見はね、どんと言って貰ったらいいと思います。
委員長	指定管理についても第2回、第3回の時も、指定管理の話が出てやっぱり馴染まないで言う意見と、他との関係もあって、別に一致している訳ではないですが、直営が望ましい、いやー指定管理で運営した方がいいとのご意見もありました。併記で良いですか。
委員	併記でいいと思います。検討委員会からはこのリサイクルプラザの運営はちょっと難しいですね。
政委員	それを言うと、又、色々な部分で細かい数字が要ります。
委員	それと目的にするので、市が離れた方がいいと思うのであれば、市の判断でこちら

	から少なくともこう言う意見は参考の程度でいいかなあとと思います。
委員長	指定管理者制度じゃなくて、市直営を望む声がある。仮に指定管理にしても検討されたいという意見があると。
委員	あの・・・委員の所のNPOさんが指定管理になるとかね、本当に関わって分かっている人がやられれば、指定管理者制度もいいのかと思いますね。 この間は、指定管理を今年4月に投入したばかりで、よくその水に状況も分かっている所、筏を転覆させたという指定管理で一番悪い結果になったので、全然そここの場所を良く分からないで指定管理に入られたら駄目ですね。
委員	逆に、指定管理者が全然違う目的の為にこの施設を利用して、5年間利益優先の運営で3Rとは違う様な事をどんどんしていこうとするそんな悪い業者もいる訳ですね。根底的にそうした業者が入ってきておこなったらめっちゃくちゃになってしまいますが、入札の時に中々そこを見抜くのが難しい事です。 やっぱりこう言う反公共的な事の事業は、やはりきちんと市が介していかないと、上手くいけばいいですが、大変な事になってしまうような気がします。
委員	指定管理者の市の方向と決め方としましては、審査委員会をと言うのを設けて、総合評価見たいな、当然色々経営委託料、市としての考え方、勿論提案して施設の方のどれ位必要かの予算面の観点もあります。基準を作ってその基準をちゃんとできるかどうかと言う事で判定はしていく事が原則であります。確かに何処まで見抜けるのか、指定管理者へのモニターリングと言う事で、毎回市民アンケートを取ったり、毎年公表しなさいと言う指定管理の所は、共通でそう言う義務を課していますので、チェックしながらの運営方法が取っていますが、指定管理者に任せきりで言う事はありません。
委員長	このリサイクルプラザが指定管理制度に適しているかどうか？と言うので、多分皆さま方のご意見はやはり直営だろう。しかし、一つの管理制度は指定管理でもあり得ると、言う位のご意見があった位にしておきたいと。
委員	難しいですよ、庁舎が一緒になっていますもの。本当に難しいですよ。手を挙げる所はあるかなあ？
委員長	工房毎になにかなあ。前の時に工房の指定管理、これなんかね。
委員	そんなの無理です。
委員長	基本的に検討委員会としては、直営で市にお願いしたいと。市民に3Rの啓発をやっていたきたい。 一応運営体制の一番目の所はそう言う様な方向で。
委員	直営がされている管理、今まで使用料でしていますが、それでもプラス電気代光熱費のうんぬん、最初から話されていたと思いますが。そこまではするのなら各工房に個別のメーターを付けて、割り振っていく、市民は何も思っていないのでそれでも使いたいと言うのはありますので、これはもう最初から話をされていたので、自動販売機もそうです、メーターを付けて過去にどれだけ掛っているの？そこまで計算ができるのであれば、徴収したらいいじゃない？と言う様に思います。

	借りる者はそれでも借ります。
委員	基本的に現状の工房は先程も言いました様に、他市町村でも実施している工房ですね。ですからこのプラザの工房がダメだと言う気は全然ないですけども、あくまでも求めるのは市の発生ごみを少なくしたい。 その為 3 R 啓発で各工房さんの利用する方々の意識が広く市民の方々に浸透できる状態にあるのか？ 或いはその見方ですけども、趣味的に工房を利用しているのか？ これらの状況で、工房部屋の料金は一律であるが、ここだけ光熱費が多く掛りますよ。そうなると市の財政状況では難しい判断をせざるを得ない。 結論的に目的は 3 R の啓発拡大を市と連携して共にして頂く団体ですので、なんらかの支援は考えて行かなければならない。 市として、啓発事業、サークル団体にどれだけ支援できるのかも踏まえて、今後のリサイクルプラザのあり方を考えて行かなければならない。
委員長	そう言う様な費用負担の問題で、全額が市からの補助ではなく負担を含めて適切負担の在り方、これを市とリサイクルプラザの参加される方と協議でやっていきたい。 今は我々がと言う風な格好でするのは結論が出ないので、協議しながら全額負担では市も負担になるし、支援も含めてその辺の意見も検討していただきたい。 次は 11 工房の個別の工房の仕分けではないですが、11 工房についてどう言う様な意見を出すのかで。
委員	この 11 工房について、一つずつを見ていくのではなくて、工房として求められるものはなにか？今、マトリクスの中に出していただいている事は、一般論としてね、提示してしまっている部分があるのですが、例えばこの 3 R 啓発の所で実際、今使っている所は啓発をしているのかと言うのがあって、先ず、工房として活動して頂くのだったら、市民向けの発信を絶対やって下さいと言う様な資格工房としての、活動する為の資格と言うので、幾つが有ったらいいですよね。その時の条件、要件ですが、ごみの減量の活動をして、実際市民向けの啓発を半年に 1 回以上をやるとか、市民を呼んでするとか。
委員	宣伝するとか。
委員	パンフレットとか、ホームページで呼び掛けるとか、それが毎年同じものが載っているのではなく、市民向けの啓発になる事を実際にやって頂けて、初めて 3 R 啓発になると言う風に考えたらどうかと思います。
委員長	先程あった、ここでしか出来ない、リサイクルプラザでしか出来ないのは優先するか啓発を優先にするか。これが先ず、優先する条件と言うか、やって頂けるというのかなあ。
委員	たまたま、設備的にここでしか出来ない。
委員	それ、3 R に繋がっていなかったら・・・
委員長	それを先ず前提に、要件として入れるどうか？ 3 R も先程一番目で言った様に前提ですから、それがない限りここでは出来ない。

委員	設備的にここでは11の設備があるとしまして、3Rに繋がっていたら、門真市の他の設備を潰して、ここで1本化にしても良い訳ですよ。逆に、この施設に設備が有るが、活かされていないものもある訳ですよ。活かすだったらそれをもっと3Rに直結する様な事ならそれを全面的に出して、それを他の施設をなくして、こちらで一本化にする。 他の所でやる意味合いとしたら、文化的な事があるかも知れませんが、全体として地球温暖化防止のためにはこう言う方が良いでしょう。第一の目的として、逆の方向はいけませんよね。ここしかない、ここであるけど全然関係がないという設備は、今後チェックした方がいい様な気がしますね。
委員	ここでしか出来ないけど、他の施設と重なっているとか、それは判断とは関係ないと思う。
委員	それはもう新たに空いているのを募集して、他の所はもう閉める所は閉めて、又、良いのがあれば、そこで考えてやると言う事も、やはり時代と共に流れがありますので、そこは目的自体が一つ有って同じ事をするのであれば、そちでやった方がいいと言う話しも兼ねてね、私は趣味と3Rに向かうなら、どちらでした方が良いやたら、3Rに向かうでした方がはるかに行政的な効果が大きい。 そう言う観点でも少し考えていた方がいいですね。だから他の施設とここだけと言う意味合いじゃなく、3Rのことを注視しながら、こちらで一本化する方が遥かに良いですけどね。
委員	賛成です。リフォームは確かにあちこちでやっています。設備の面で言ったら、ここはマシンが使えます。他の所はマシンを自分が持ちこまない出来ない。 ここはアイロンもマシンも全て揃っています。ここは他の方は分からないですが、ここは便利ですよ。 リフォームで関わっている方なので、当然3Rの事は全部分かっています。だから、もったいないと言う気持ちもありますので、ごみで出すのではなくて、それをかなり使って、文化会館でも活動されている方もそう言う事でやっています。 実際にこちらのみに一本化しつつ有ります。
委員	そういう面でエコクッキングもむしろそう言う名前を目指すところですね。そう言う意味合いで言いますと、どちらかと言うとこっちの方に持て来た方が良いでしょう。
委員	それはお勧めできません。環境面では良いのですが、設備の面では悪いです。残念ながら他の所の方が身障者も使えます。だから、ここはそういった設備がありません。ここは使えないです。
委員	将来の事を考えて、このプラザの目的として、3Rが大きな意味を持っているので、将来的に考えてどちらを続けるのか、それを大きく失われる様な感じになったら、設備の面も含めて考えなければいけないですね。今はしょうもない設備しかないから、市としてどう考えるかと言う様な意味合いもあって、その辺はもう少しと思いますよね。
委員	そのメンバーだけか毎回集まって研究をするとかじゃなくて、メンバー以外の人にそれを教える方がよほど重要じゃないのかと思います。 メンバーの方はもうベテランで、セミプロで物凄く良くできると、全然できない

	のに教えて頂ける場として、ここを使えばいいと思いますから、最重要はメンバー以外の人へのアプローチをちゃんとやっている工房を残して、メンバーだけで何かされている、それが楽しくて、毎週毎月集まるとか言う活動で終わってしまっている。そこはもう別の場所を探して貰って、もっとほかの本来メンバー以外に発信して貰える人達を新たに組織する。
委員	他の施設は大体サークル活動です。ここはサークルじゃないです。工房としてずっと来ていただいていると言う、これは最初から守っていつている、だからサークルじゃないのです。
委員	・・委員がおっしゃっているのは、事実上は良く分かっているのです。本来はそう有るべきで、その工房は３Ｒの啓発について、どの様な展開するのか？ 工房の自体も中身も本来は趣味ではなく、あくまでも３Ｒ啓発を、効率よく啓発していますよ。こう言う人に勧めていますようと。それなら理解できるのです。 只、現状として第三者が見て理解できる状況にあるのか？ 先に・・委員がおっしゃったように、やっていますよ。こんなになっていますよ。 実際には行政のラインから見る場合アンケート調査で、プラザを市民が単なる趣味で利用している。内容を見ていく場合、やっているのはやっているけれども、いつも同じ人がやっている。見方としてはそうに見えてしまう。 ・・委員がおっしゃったように、実際にやっている団体はやっています。こう言う風にやっています。と第三者が見て理解できる状況にあるのは良い。 また、第三者に理解して頂くため工房展開を改善し、・・委員がおっしゃったように、３Ｒ啓発をどう広めて行き、それに伴いどう言う展開をしていくのか？が大事です。ここでする分にはね。
委員	とにかく、３Ｒは大きく繋がって、施設の目的はそうであって、重複している施設がもし門真市にあれば、むしろこちらを優先するという事が、あちらは趣味でこちらが目的であるので、勿論こちらの方へ持て来た方が有効ですね。だから考え方は３Ｒの目的としている市民活動を考えていただいて、施設が重複している場合には、むしろ３Ｒを考えて貰って、こちらの方に持っていただいて一本化する。そう言う方針で考えていった方がいいと思います。ここでしかないが、目的に合っていないものは、ちょっと考えた方がいいと私は思います。ここでしかないからという理由にはならない。
委員	それがね。今、自転車・家具を辞められたと言うことですが、又、市として直営運営をする中で、自転車工房をやってくれる人を募集とかね、家具工房をやってくれる人を募集して、仮にやってくれる人を２～３人ずつを中心してやっていく気は市としてあるのですか。
事務局	今は現にボランティアで自転車なり、家具なりにやって頂けると言う様な方が居られました、使って貰ったらいいと言うスタンスでさせていただいています。
委員	登録制度みたいな制度の設置が大事です。これからは退職者がどんどん増えてきますよね。能力ある人は沢山いるので、そういう人を活用するところいう所ですね。やっぱりボランティアをしたいそう言う人の登録制度のようなものを活用していくことが、上手くいくじゃないかと思います。

委員	市全体としては、公募提案型で市民が自由に色な活動をしたいと言う事で認められて、逆に市の方から新テーマでこう言う活動をして欲しいと言うことも含めて、今年度からそう言う制度２本建てで出来ました、また、環境事業は環境事業で、ちょっと特化した補助制度がありますので、そこで上手く活用しながら、可能性としてはあるかなあと思います。だから運営費も入ってきますので利用いただいたらなと思っています。最初からはなかなか自主的にしていただくのは難しいとは思いますがここ２年位で定着してくるかと考えています。その他でも運営しますので、うまくいけばよいのですが。
委員	その制度もこちらで活用できるのですか。
委員	完全ではないですが。
委員	その辺では、市の運営体制からそちの方で繋がっていけるような事が有ればいいと思います。
委員長	１１工房については個別に仕分けをする訳ではなくて、先程点数で付けるどうのこうで言うのは個人的にはしたくないので、全体的に工房自体の個別の考え方としては、先ず、市が公募していくという様な話です。市民の提案を受けながら、選んでいただきたい。あくまでも大前提として３Ｒ啓発が市民向けの啓発に、リサイクル啓発を大前提にと言う事で、今後を選定して頂ければ、評価しながらと言う事の手考えでよろしいかね？
委員	それで３Ｒを大前提にしましたら、３Ｒは今後も必然的な課題になってきますので、そう言う物が啓発できるのであれば、門真市としても他の施設の事も考えて、こちらを重視していく様な方針でもいいじゃないですか？ どの工房をと決めるのは難しいですが、３Ｒと言うのはこれから多くの提案が出来ますので、何かそういうニュアンスの事で、出来れば非常にいいと思います。
委員	ご幣がありますが、門真市は大阪府下４３市町村の中で、個人の総収入が一番低い市です。市民の多くは、厳しい家計を一生懸命に維持されています。 現行の１１工房について、生活に直結をしているものは理解されますが、陶芸やガラスについては疑問であります。３Ｒ啓発拡大が難しいのもこういった背景が一因にあると思います。 まずは、普段の市民生活から直結をしているものを見直し、市民意識向上の工房展開を考えるというのはどうです。
委員	あのここに有りますのはね、３Ｒに直結していない所も有る訳です。
委員	基本的には、他市町村でやっている工房の実態は、当然ながら陶芸もあり、ガラスもあり、ある意味では３Ｒ啓発に寄与していると思います。 当初の目的に合わせた中でやっぱり広く市民に普及浸透させていく中では、市民に果たして陶芸はこんなですよ、ガラスはこう言う風にしていますよ。と言っても難しいじゃないか？
委員	私の意見としては、他の工房に何があるか、意味が分かりませんが、陶芸について、ここでは新しい粘土を使っているのは意味がないですよ。３Ｒに直結してい

	るものを優先していくべきです。委員会としては、3 Rにこの施設に非常に効果のある工房を残していった、3 R啓発に強調できる事が少しでも入れば良いと思うのです。
委員長	集約を増やすと言うものは中々難しいし、又、サークルでやられている人を否定するのも難しいし、そういう所で少し考えてご意見をいただきたい。・・委員は何か？先程。
委員	今の話を聞いてちょっと、又、他に言いたい事が出来た。ガラスについては現実に瓶、カレットでリサイクルすると言うのをコンパックに見せると言う、だから瓶は分別収集をしなければいけないですよ。と言う見せる役割はあるので、真っ向からは否定はあまりしないです。
委員	別の視点でね、環境学習と言う視点で見せる中に、実際の事をしなくても、ビデオとか啓発のいろんなグッズでしてもいいじゃないか。 逆に製作していくと言うことでしたら、それこそ市民に集められている瓶を全部そうしてしまう。そうしている過程を見学して、市民から出してもらった瓶をリサイクルしている過程を見学してもらおう。一部を取らまえて、それはビデオだけでいいじゃないですか。
委員	それだったら全部ビデオでもいいのです。
委員	先程も言いました様に、市民生活から直結をしているものの一つとして、ズボンや衣類の寸歩が合わなくなったから直して欲しいとか、或は自転車が無くなったから安いのが欲しいと言う切実な声があったら、3 Rを啓発するのに、非常に良い状況であると思います。そのような工房を中心に市民意識の向上を図り、3 Rを浸透していけば有る程度周知ができる。先ず、第一段階で有る程度浸透したら、次の段階への展開を考えていけば良いかと思います。
委員	そう言う観点からすれば、例えばガラスとか染めとか陶芸とか。
委員	そうなって来るかと思います。ただ、委員会ではそれらを限定して結論付けしなくても良いかと思います。そう言う考えも必要じゃないかと思います。
委員	先程ちょっと言いたかった事は、同じ名前でリフォームを2つ団体が有ってもいいですよ。その確認がしたかった。先程言いました様に、今、既存と全然違う新たな例えば若い世帯で、リフォームじゃなくて、リメイクでサークルみたいな事をやっている。
委員	今現在は4グループ。NPOだけじゃなくて。
委員	工房と言いながらもグループは幾つあってもよいと言う事です。その施設の名前が工房な訳で、工房を直結させるどうかは、運営と考えるといけないと言う事で、例えばガラスはどうかと言う議論になる訳ですね。

委員長	これは先程聞いた、リフォームの団体とか他の工房を複数団体が利用している所は結構ありますか？
委員	染めもそうです。他の団体がされる所もあります。石けんもそうです。それ以外に紙すきもそうです。NPOだけが使っている訳じゃない。
委員	それから11とずっと言っていますが、玩具工房があってもいいじゃないかと思います。
委員	準備会の頃それは有りました。実際に玩具工房とは言わないで、よろず工房で作った事はあったのですが、あまり利用されなかった。
委員	仮に玩具工房だったら、もっと子供がくるかもしれない。
委員長	今は電池式の玩具は直すのは難しいですね。
委員	直せないかもしれないけど、要らなくなった玩具が誰か欲しい人が貰える。
委員	それは「あげます。もらいます」コーナーでやっていますけど。
委員長	それは誰がやっていますか？
委員	ボランティアで、NPOでやっていました。
委員長	工房を使う時は、一応工房でいうか展示場でやっている？
委員	展示ホールでイベントを含めてやっています。
委員	今までの経験で駄目と言う話ですが、まだ、よく分からないのではっきりした事は言えないですが、7月頃にトイストーリー3と言う映画が上映されますが、物語は要らなくなった玩具が映画のテーマになっている、見たいですよ。要するに子供が大きくなって、玩具が捨てられると、色んな所で玩具が冒険みたいな事を、その見たら、又、人は考え方が変わったりするじゃないかなあと思います。
委員	今は玩具を直してまで使おうかなという人は居ないです。壊れたら新しいのを買う、コロコロ替えていく事が多くて、修理してまでは使わない。うちも孫が居りますが、直してまで使う事がなくて、それが溜まっています。あまり使わない綺麗な物は誰かにあげるとか。
委員	トイストーリー3がビデオになったら、ここで上映会を企画するとか。今はしてみないと分からないですけどね。何か市民向けに人が来る様な企画と言うのをまたまた考えられると違うかなあと思いますが。
委員長	新しい何かを含めて、最終的に時間関係がちょっとないので、また、提案しておいてください。11工房等の考え方については、今言った様に3R啓発を実施して頂くとかと言う様な事で、個別については有る程度まとまっているかと思いますが、ここではこれは要らないと言うのはちょっと違うと思います。

委員	3点目の今後の要望、リサイクルプラザだけでは出来ない様な物を、もし有れば場所の関連と言いますか、逆に文化会館とか公民館でしたりするのを連携しながら共に進んでいるとか言うのを有れば。 そういう登録制度が有れば、その人材を活かすと言う市の宿命見たいな所がありまして、登録制度はこちらだけではないですがね。3Rにそれを連携で活用出来ればよいかと思います。 環境教育としまして、施設見学にしても、こんなにしてこんないいことが出来ますとばかり説明をしています。このようなことは、むしろ環境教育にはマイナスの面になり、ごみをいくら出してもいいよ、になっています。教育の面から、こんな事をしたら、やっぱりお金が掛るし、色々な現実を抱える問題を見せることが必要で、この問題のためにお金がたくさんいる訳ですから、見学者に見せるには処理するためには幾らの余分なお金の掛ることも現実であることを説明することが重要です。そのためごみを出さないと言う様な事をきっちり説明し、3Rに繋がる様な事も考えて、また、システムを上手く考えて頂く様な事が重要です。それと・・・委員がおっしゃいましたが、私は市町村で色々起こったことをビデオで撮って、市民向けにアピールできるような場として、色々な事でもっと素晴らしい事があったら、ごみ減量に直結する事だったら、紹介するとかできるかも分からないですね。だから、そういういいことを集めてきて、それを映像で見せるとか、紹介するとか、出来たらこっちの工房の将来的な使用に繋がって行ける見せる活動もできるだけ集める。工房の活動と見せる工房の活動を一体化にして3Rに繋がるのが、この施設の将来発展に繋がる事になると思います。
委員	私なりに、いま解釈しているのは、市としてプラザの工房は継続されていくと、やっぱり支援は必要ですね。 簡潔に言いますと、厳しい財政の状況ですが、それも見えていかないとあかんと言う事ですね。 工房はプラザの中にある本店やけど、その支店も必要やし、その時の支店の場所も探して欲しい。 今後も減量化、3Rの啓発の事業の一環として、その工房が持続できる支援も必要です。何もここだけで目的を達成するのではなく、出前に行きますようとか、駅前イベントしますよとか、あくまでも、ここのプラザが本店本社で、支店・支社を出して下さい。それはあくでも3Rの啓発の為ですと言う発想に対して、市も支援して行くと言う様な体制を取っていかないといけないですね。
委員	最初に市長さんとの話をさせて貰いますが、市民の中にプラザでやっている人と知っている人とは、どの程度の割合であるのか？ 工房の各中でやっていない所もありまして、それはやはり市としてはしていかないとね。一方ではここは工房だけと出来ません。逆にそっちの方からどんどんしていかないと、設備があつて何もしない、少しプラザの活動でリサイクルをやっている事を紹介しながらも3Rに繋がる、そんな事をしている事によって、又、新たな提案をしていただいて、ちょっとそこが少し足りないですね。それを提案するようなことも必要かなと思います。
委員	・・・委員から広報から断ち切ってしまったとお聞きしまして、色んな広報の市の載せる内容も変わってきますので、難しい問題もあると思いますが。 そう言う部分についてはやっぱり、広報が駄目だったら違う形の分で、行政側と協議していく様な事があって然るべきかと思います。

	その点は反省しています。今後は十分に協議していこうと思っています。 だから具体的にこうしていく、ああしていくじゃなくて、一つの考えとして、今日おっしゃった様に自治会の回覧板、市が全自治会の回覧板に回せる様に、支援していこうと考えています。
委員長	この先程いただいた機構かどまは何部位に発行されるのですか。
委員	今は、かなり少なくなっています。１００～２００部です。
委員長	どう言う風の格好で皆さんに渡されるのですか。
委員	会員さんは勿論ですが、こちらに来られた方に、置くのもそうですし、手渡しで工房に入られる方に手渡し、また、各イベントの時は勿論です。昨年まではフリーマーケットのときに３００～４００部。部数的にはかなり減りました。
委員	どちらにしても、そう言う発行は市の方でね。行ってみようね。面白いですね。私は何か活動は市の方が、市民に来てもらえる様な紹介をしたらいいと思います。逆にこういった事で市はあまり協力していない。そんな事に直結するような事かも分かりません。それを積極的に言っていく様にしないとね。今後のピーアールの中にそれを入れていただいたらいいと思います。
委員	その辺は、協議というか話し合いの場を多く持つべきですね。 支援する所は支援していく。という姿勢が大事であると思っています。
委員長	そう言う事で、大体のまとめかと思います。
委員	なんか凄く消化不良に感じています。最終的に工房はどうなるでしょう？今回のこう言う仕分けで言う事を聞いていましたので、このままの文面でいかれるなら、これで評価されるのだろうか？の思いがあります。
委員長	先程も言いました様に、ここの所は個人的には検討会での個別の仕分けは非常に難しいと思います。
委員	では最終的に誰が決めるのですか。
委員長	その辺が先程にもあったリサイクルプラザの全体の管理自体は、市がやっていただきたいと言う事です。市と実際に工房をされている皆さまが決めて頂くのが一番いいかと思います。予算的な問題も有ります。
委員	それならお願いがあります。結論を出す前に各工房全部をご自分の目で確かめて、スタッフなり、利用されている方となりにこれは果たして全部正解なのか？全部自分で確かめて欲しいと思います。そのうえで判断していただきたいのです。これで判断されでは納得できないなあ。それだけお願いします。
委員長	そういう意見も報告書にも入れて、この委員会は本来、最初そうしたことも有ったのですが、やはり色々な意見が出まして、これは個別の判断では難しい。 全体の流れは大体今日のところで、同意頂いたと言いますか、流れが分かったと思います。

	これは指定法人とか、管理法人とかができて、誰がするのか、どうするのが程度話になれば、又、それを誰がどうするのが非常に難しくなりますが、お金も問題も最初にありましたが、これも全額でないと言う事を同意いただいたので、その辺は予算との関係も考えてということになりますね。 今日で大体の所は終わりましたので、後は事務局でまとめていただいて、どうさしてもらいましょうか？最終報告は、事務局で案を作成していただいて、皆様に又はメール等で皆さまの意見を聞いて確認いただいて、最終的には私の方で一任していただくということをお願いしたいと思います。もう一回この委員会を開くのもどうかと思いますので？ 折角ここまでなんとかまとめたので、又、色々な意見が出て来ると思います。出来れば今日で全部まとまった段階で、委員の意見として最終報告としてさせていただきたい。よろしいでしょうかね。
委員	異議なしの声
委員長	本日は第5回で委員会と言う事で終わらせていただきます。 長い間ご苦勞様でございました。